

## ローマ日本人学校

ローマ日本人学校は、イタリアの首都ローマの南東部にあり、1975年ローマ日本語補習校として開校し、1986年全日制日本人学校として創立された学校です。現在は小学部・中学部とローマ日本人幼稚園が同じ校舎で学んでいます。校庭には青い芝生と松の木林があり、世界有数の観光地にある学校とは思えないほどの自然豊かな環境の中にあります。毎朝、野鳥が鳴き、以前「ダーウィンがきた!」で紹介された「ローマのカモメ」も飛来しています。

本校は「ローマならではの教育」を目標に次のような学習に力を入れています。

まずは、語学学習が挙げられます。小学部1年生から中学部3年生まで、週1回のイタリア語の授業、ネイティブの先生による英会話の授業も実施されています。そして、授業で培ったイタリア語や英語を生かす場として、現地校やインター校との交流が年2回行われています。本校に招待して日本の伝統的な文化や遊びをイタリア語で教えたり、現地校でのカルネバーレに参加したりしています。イタリア人の友達を作ろうという目的をもって会話をを行うことで「伝えること」の大切さと喜びに気づき、語学に対する興味関心が高まり、意欲的に学習に取り組んでいます。

また、ローマならではの教育の一環として、総合的な学習の時間「ローマの時間」でイタリアの気候や産業等について調べたり、全児童生徒で近辺の農場に出かけたりして、イタリア人の生活そのものに触れています。さらに、ローマには、芸術や歴史に触れる機会や場所が多くあります。これらの好機を生かそうと毎年芸術鑑賞会として、オペラ座等に行き、オペラやバレエの鑑賞を行っています。年1回の写生会ではコロッセ

オなどの遺跡を写生したり、一般では見学できないバチカン庭園での写生を許可していただいたりして、写生に取り組んでいます。

児童生徒はローマならではの体験を重ねながら、豊かな環境の中で成長し、生き生きとした生活を送っています



【校舎】



【オペラ座での鑑賞会】



【バチカン庭園での写生会】